

“ひらく、未来海流”のコスチュームの創作

— 「海峡メッセ下関」オープニング・ウィークポスター —

横山順子



写真1. 「海峡メッセ下関」のポスターとして完成したもの

1. はじめに

アジアを中心に、日本と世界を結ぶヒト・モノ・情報の交流拠点として誕生した山口県国際総合センターは「海峡メッセ下関」とネーミングされた。その中は、船形をした情報発信型施設「国際貿易ビル」、西日本一の高さをはこる展望施設やレストランがある「海峡ゆめタワー」、国際交流やイベントホールをもつ「アリーナ」に分かれている。その

オープニング・ウィークが1996年7月20日～7月28日間に開催され、その広報活動の一環としてポスターの制作が企画された。このポスターの制作にあたって著者は、コスチュームデザイン・スタイリストとしてかかわり、そのフォルムと機能を擬人化し、未来を予感でき、生命力あふれるものをプランニングした。とくにこのポスターにおいては、日本、中国、タイ、インド等、アジア文化のイメージをテー

マにそれぞれのデザインの特徴、デザイン・アイデンティティーを表現することを目標とした。

2. 制作の概要

コスチューム制作に必要である、イメージテーマ・色・素材・シルエットの4要素を明確にし、それらを満たすような作品を具現化させた。

2・1 イメージテーマ

「海峡メッセ下関」のコンセプトである日本とアジアの交流拠点を横軸とすれば、縦軸に宇宙、そして時間空間としての未来を置いた。その未来は、決して無機質ではなく、どこかほっとするヒューマンな未来、輝かしい生命力あふれる未来を予感できるものをイメージした。

2・2 色

海の中から空気中を見たとき、太陽の光が波にゆられてきらめくさまを色彩で表現した。また、グラデーションをつけることによって海の底からわきあがるようなニュアンスをイメージした。さらに、宇宙志向の色として、光沢、透明感、メタリック感を大切にした。

2・3 素材

視覚的、触覚的な要素にポイントを置き、素材を選択した。イメージに合った素材感としては、光を反映する表面効果と透明感、人工的なすべすべした感触、セカンド・シルエットを表現するハリや緻密な構造を重視した。また、テクノロジーの発展から生まれた新しい加工方法による素材も、表現方法を取り入れながら各パーツにあてはめた。例えば、銀河やスターダスト、星のきらめき、オーロラなどをイメージした。この作品の主な素材としては、シャンプレー・ワッシャーオーガンジー（ナイロン100%）、ラメ楊柳（レーヨン70%、メタル30%）、双金通（レーヨン100%）、ラメフレジャガード（レーヨン66%、ポリエステル22%、メタル12%）であり、部分的にはスパークオーガンジー（ポリエステル100%）、パールオーガンジー（ナイロン100%）、ラデン佐賀焼バク（ポリエステル100%）、メモリ縮緬（レーヨン100%）、チャイナ



写真2. コスチュームをモデルに装着して全身を撮影したもの

生地各種（レーヨン 100%）を中心として、さらに、ストリング、スパンコール、ビーズなどでイメージ表現を展開した。

2・4 シルエット

「海峡ゆめタワー」のかたちを全体的なラインとした。そこで、シルエットは自然な体型の美しさを表すようなエンパイア・ラインである。細身でまっすぐ、しかし、ゆるやかに流れるものにした。素材としての落ち感や透け感が、量を伴い、動く時代とマッチしたため、さまざまな可能性を含むシルエットになった。また、私たちの回りを取り囲む自然界からヒントを得て、人間が作りだすことのできない、美しい形、不思議な形をしている貝やヒトデなどもデフォルメしている。

3. 作品

「海峡メッセ下関」のポスターとして完成したものを写真1に示した。これは、写真2のコスチュームをモデルに装着して撮影したものと、写真3の珊瑚とイソギンチャクをモデル化して作成したものをCGで合成させたものである。また、写真4は上半身のポーズを変えて撮影したものである。

4. おわりに

人体の立体形状を包むデザインの創造には多くの可能性があり、多くのファクターを同時に組み立てて考えなければならない。発想を助ける様々な技法、豊かな創造性と同時に理論を構築していく能力が必要になる。その上にデザイナーの個性、ブランドイメージや社会背景などの諸要素が組み合わされて、タイムリーでクリエイティブなデザイン発想となっていく。このコスチューム制作にあたっては、斬新でかつエスニックなものとするよう心掛けた。

最後に、このコスチュームの制作過程において種々ご協力いただいた卒業生並びに在学生に深く謝意を表すとともに、学生たちが社会参加の一端を担えたことは、有意義であったと思う。



写真3. 珊瑚とイソギンチャクをモデル化して、刺繍糸でグラデーションをつけ波のイメージをだしたもの



写真4. コスチュームをモデルに装着して上半身を撮影したもの